

平成 30 年度京都府公立高等学校入学者選抜中期選抜における学力検査の出題について

(その1)

<出題方針>

中学校学習指導要領に基づき、各教科とも中学校で学習する基礎的・基本的な内容に重点を置くとともに、知識・技能等を活用して課題を解決するために必要な思考力、判断力、表現力等が的確に把握できる出題とする。

<特徴>

基礎・基本の定着、論理的な思考力や判断力・表現力をみる

中学校で学習する基礎的・基本的な内容の定着をみるとともに、語句、表現及び図示などの記述による解答を求める問いも設け、生徒が身に付けた様々な知識・技能等を活用して総合的に考え、判断・解決できるかどうかをみた。

<各教科の特色と傾向>

【国 語】

- 1 大問一では、鎌倉時代の文章を題材として、内容を読み取る力をみるとともに、歴史的仮名遣いについて問い、古典を理解するための基礎が身に付いているかどうかをみた。また、古典に親しむ態度の育成を重視した出題となるように留意した。

〔出典〕 「^{そごことわざ}続古事談」(『新日本古典文学大系』岩波書店より)
鎌倉時代に^{へんぎ}編纂された説話集。編者未詳。

本文は、平安時代における貴族の礼儀作法に関する逸話である。本文の内容を読み取ることで、古典に表れたものの見方や考え方に触れ、古典への興味・関心を深めることを期待する。

- 2 大問二では、筆者の論理の展開をとらえて内容を理解する力をみるとともに、言葉のきまりに関する事項、漢字に関する事項についての理解をみた。また、「話すこと・聞くこと」及び「書くこと」の内容に関連する問題を設けた。なお、思考力・判断力・表現力等を重視した出題となるように留意した。

〔出典〕 「脳は美をどう感じるか」 ^{かわはなひであき}川畑秀明 (筑摩書房)

本文は、芸術における創造性と、経験に基づいて得られる身体的な知について書かれた文章である。本文の内容を的確に読み取ることで、人間や芸術などについての考えを深める契機となることを期待する。

【社 会】

- 1 基礎的・基本的な内容の知識、概念や技能を習得しているかどうかをみるとともに、それらを活用して、論理的に思考する力、公正に判断する力及び適切に表現する力が身に付いているかどうかをみた。また、地理的事象、歴史的事象、現在の社会的事象を有機的に関連づけ、多面的・多角的に考察する力をみるため、4つの大問すべてを地理的分野・歴史的分野・公民的分野の融合問題とした。
- 2 資料から読み取ったことを適切に表現する力をみるため、短い文で記述する問題(答の番号【4】)を設けた。また、複数の資料をもとに適切に判断する力をみる問題(答の番号【14】)や、各時代の様子をとらえて時代の流れを理解しているかどうかをみる問題を設けた。さらに、生活にかかわりのあることがらを題材とする(大問3)ことで、身近な地域の特色や、社会的事象に対する関心を高める契機になるように留意した。

【数 学】

- 1 数量や図形などに関する基礎的・基本的な知識及び技能を習得できているかどうかをみるとともに、それらを活用して様々な事象を数理的にとらえ、見通しをもって論理的に考察する能力をみるように工夫した。
- 2 日常の事象を題材とした問題(大問4)を設け、与えられた条件を整理し、適切に処理する能力をみた。また、立体に示された線分を展開図にかき入れる問い(答の番号【9】)を設け、空間図形を分析的に考察し、平面上に表現する能力をみた。

平成30年度京都府公立高等学校入学者選抜中期選抜における学力検査の出題について

(その2)

<出題方針>

中学校学習指導要領に基づき、各教科とも中学校で学習する基礎的・基本的な内容に重点を置くとともに、知識・技能等を活用して課題を解決するために必要な思考力、判断力、表現力等が的確に把握できる出題とする。

<特徴>

基礎・基本の定着、論理的な思考力や判断力・表現力をみる

中学校で学習する基礎的・基本的な内容の定着をみるとともに、語句、表現及び図示などの記述による解答を求める問いも設け、生徒が身に付けた様々な知識・技能等を活用して総合的に考え、判断・解決できるかどうかをみた。

<各教科の特色と傾向>

【理 科】

- 1 自然の事物・現象について、基礎的・基本的な知識や観察・実験の技能が身に付いているかどうかをみるとともに、科学的な見方や考え方が身に付いているかどうかをみた。
- 2 化学的領域の問題では、現象を総合的にとらえた上で、資料から読み取れることを適切に表現する能力が身に付いているかどうかをみるために、短い文で記述する問い(答の番号【17】)を設けた。また、物理的領域の問題では、結果を分析して、科学的な知識や概念を用いて合理的に判断し、表現する能力をみた(答の番号【18】)。

【英 語】

- 1 全体をとおして、英語でのコミュニケーション能力の基礎となる知識・技能を習得しているかどうかをみるとともに、それらを活用して思考・判断・表現する力をみた。
- 2 筆記問題では、まとまりのある文章と会話形式の文章から出題し、語句や文、文法などに関する知識が身に付いているかどうかをみるとともに、内容を正しく読み取る力をみた。酪農体験を題材とした問題(大問1)では、本文の内容をもとに会話の流れに沿った表現を考える力をみる問い(答の番号【9】【10】)を設けた。また、外国人旅行客へのアンケート結果を題材とした会話文(大問2)では、必要な情報を整理して思考・判断する力をみる問い(答の番号【11】【12】)を設けた。
- 3 リスニング問題では、会話を聞いて概要や要点を適切に聞き取り、正しく理解し、内容に関する質問に対して適切な応答を考える力をみる問いを設けた。